

第2章 周南市の教育を取り巻く状況

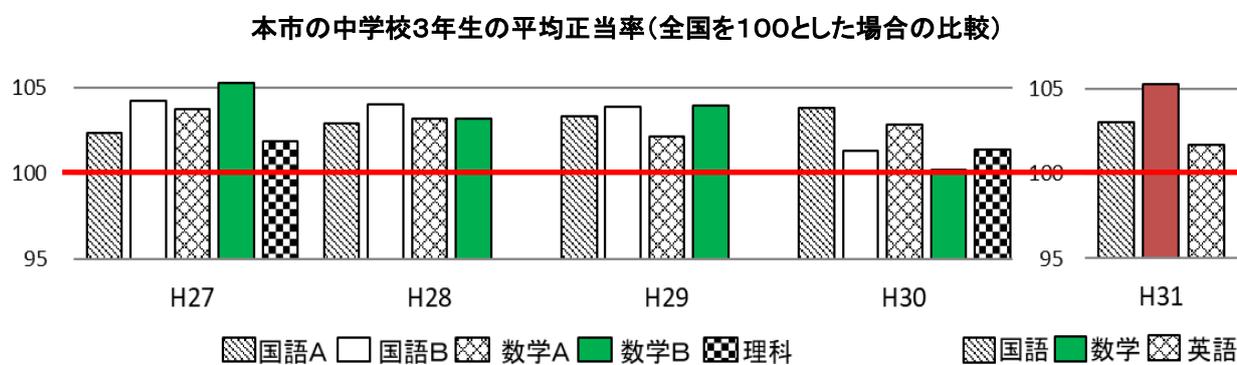
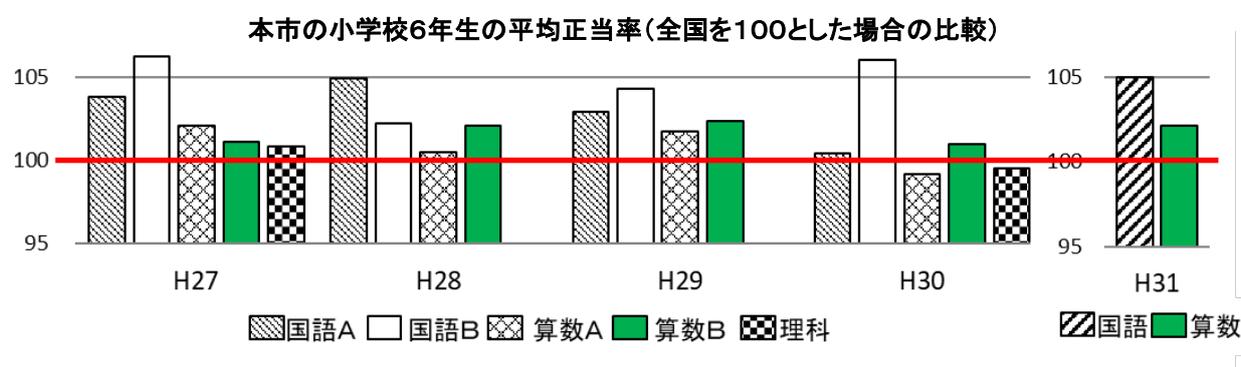
子どもの学力、生活・学習習慣、体力等に関する全国調査の結果を用いて本市の教育を取り巻く状況を示します。

子どもの学力の状況

本市の子どもの学力の一端は、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に実施する全国学力・学習状況調査のうち教科に関する調査における本市の児童生徒の平均正答率と全国の平均正答率との比較からみることができます。

この調査では、実施する教科が年度ごとに限られ、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないことから、把握できるのは学力の特定の一部分でしかありませんが、近年は、総じていずれの教科も全国の平均を上回っています。

今後も、確かな学力を形成するために、授業力をさらに磨くなどの教職員の資質向上を図る取組を、引き続き充実することが必要です。



出典：全国出典：全国学力・学習状況調査（文部科学省）

※理科・英語は3年に1回程度の調査となっています。また、平成31(2019)年度調査より、全ての教科において知識・活用を一体的に問う問題形式となったことから、従来のA/B区分がなくなりました。

子どもの心の状況

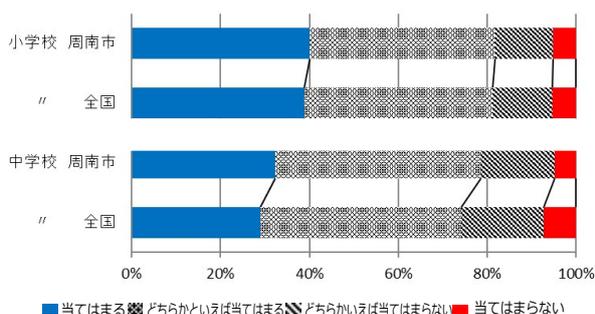
倫理観や規範意識、自己肯定感の醸成、基本的な生活習慣や学習習慣の形成など、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むことは、確かな学力を身に付ける上でも欠かせないことです。

本市の子どもの心の状況については、全国学力・学習状況調査のうち児童生徒に対する質問紙調査から、自尊意識や規範意識、社会性に関する項目、学習状況に関する項目等において、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」といった肯定的な回答の割合が全国と比較して高い傾向がみられることからもうかがい知ることができます。

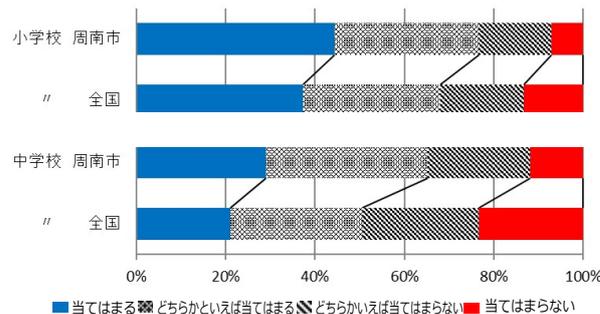
また、地域行事に参加していると回答した児童生徒の割合も全国平均より高く、コミュニティ・スクールの取組を通して、児童生徒の自己有用感が高まり、「ふるさとを愛する心」「地域の担い手としての意識」が生まれていることもうかがえます。

子どもたちの豊かな心を育成するために、これからも学校・家庭・地域が連携し、一体となって取り組んでいくことが重要です。

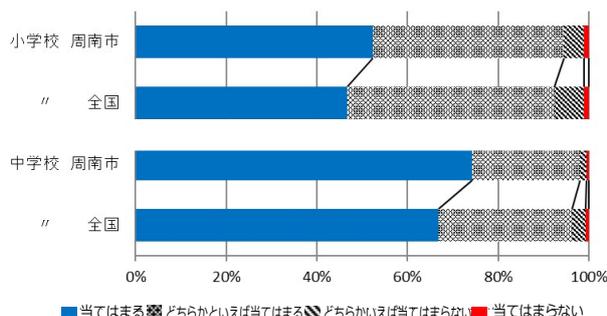
自分には、よいところがあると思いますか



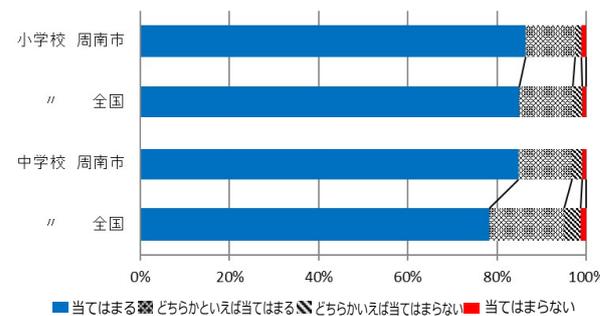
今住んでいる地域の行事に参加していますか



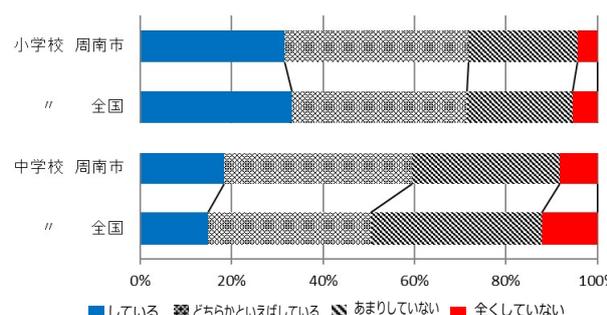
学校のきまりを守っていますか



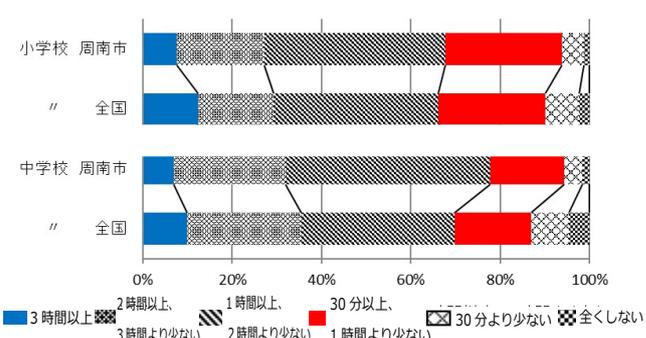
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



自分で計画を立てて勉強をしていますか



学校の授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）



出典：平成 31(2019)年度 全国学力・学習状況調査（文部科学省）

子どもの体力・運動習慣等の状況

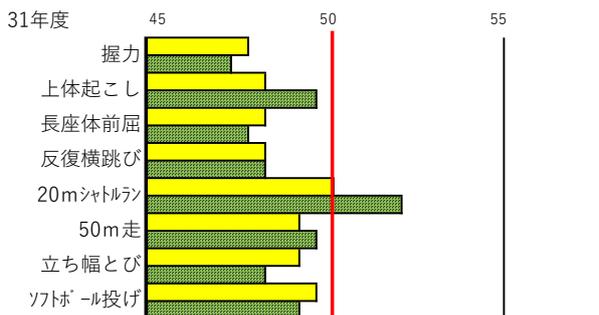
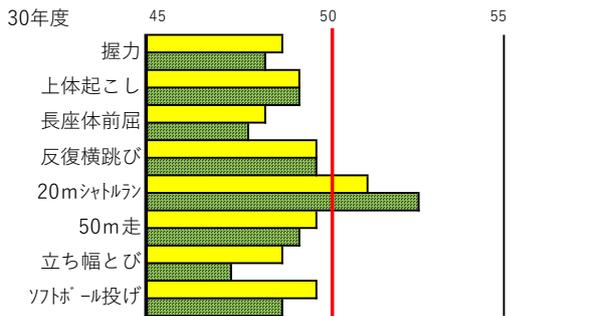
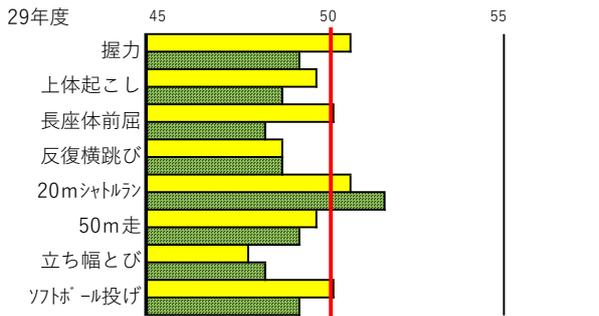
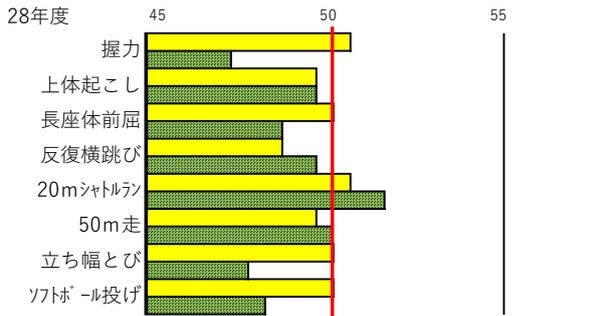
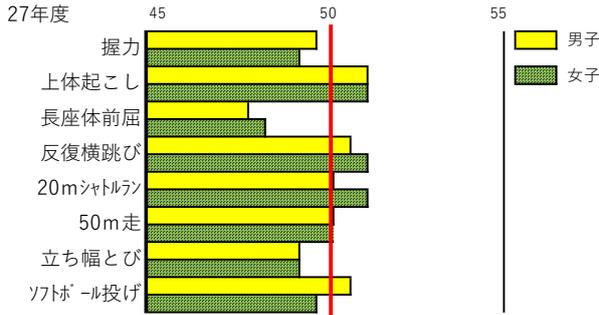
本市の子どもの体力については、小学校5年生と中学校2年生を対象に毎年実施されている全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点（体力8項目の結果をそれぞれ10点満点で得点化した合計点）が、山口県全体と同様に全国の平均点を下回っており、特に小学校5年生男子の体力合計点については下降傾向にあります。

種目別では、小中学生の男女とも全身持久力（20mシャトルラン・持久走）は、全国平均と同程度か上回る一方、筋力（握力）や柔軟性（長座体前屈）立幅跳び（跳躍力）等については課題があり、バランスのとれた体力向上に向けて、課題をしばらく年間を通した重点的な取組を推進する必要があります。

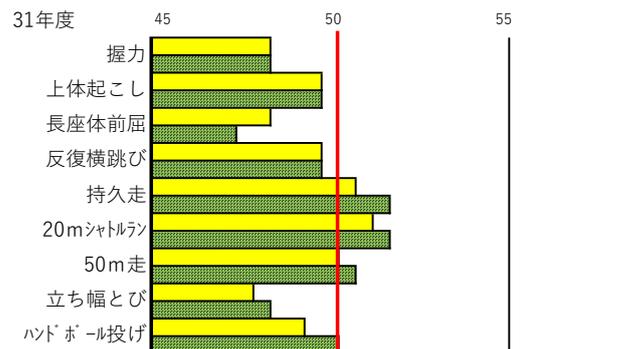
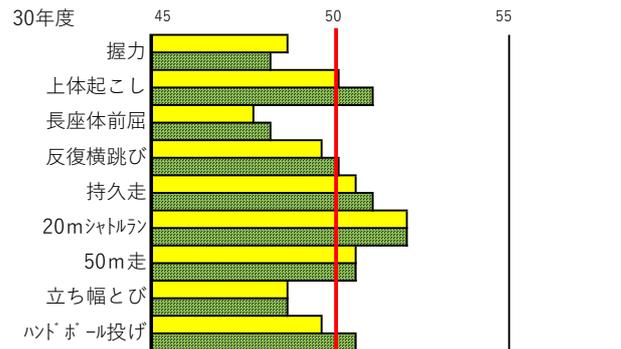
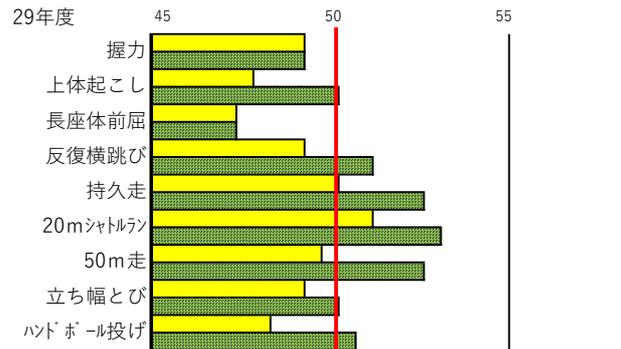
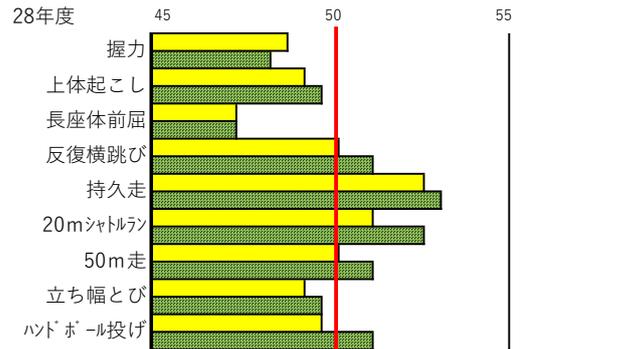
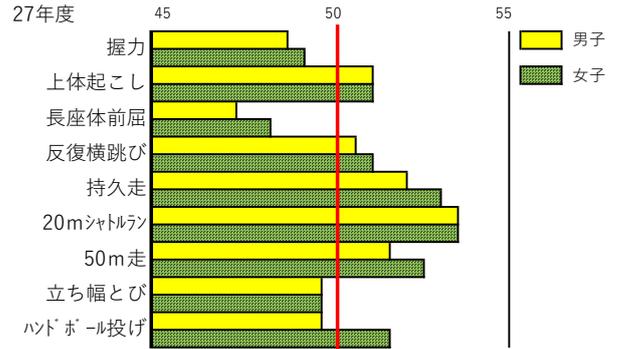
また、全国的な傾向として、近年、子どもの体力・運動能力が低い子どもの割合が増加しており、運動をする子どもとしない子どもの二極化傾向が指摘されています。

本市の子どもの運動習慣については、1週間の総運動時間が全国平均を上回っていることから、引き続き運動経験が少ない子どもが積極的に体を動かす機会をつくるなどの運動習慣の定着や生活習慣の改善など、学校・家庭・地域が連携した取組の推進が重要です。

【本市の小学校5年生と全国の種目別得点】
(各種目の全国平均値を50とした場合)



【本市の中学校2年生と全国の種目別得点】
(各種目の全国平均値を50とした場合)



出典： 全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）